

平成29年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	36	学校名	静岡県立静岡東高等学校	記載者	勝山 博子
------	----	-----	-------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組 目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
ア	授業 改善と学 力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の授業参観年3回以上 100% ・「授業を通して学力や技能の向上が実感できた」と答える生徒の割合 70%以上 ・教員のセンター試験問題確認率 5教科 100% ・教員の教科指導セミナー参加者人数 3人以上 ・1・2年家庭学習時間 1日平均2時間以上 ・1・2年11月進研模試偏差値平均 55以上 ・センター試験平均点 全国平均+5%以上 ・3年予備校DVD講座参加者数 40人以上 ・学力向上委員会内に指導体制構築プロジェクトチーム(PT)、東陵セミナー改革PT、アクティブ・ラーニング推進PTを設置し、学習指導体制を刷新する。 ・教員による先進校訪問4人以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事と授業改善が連動していることや、研究授業をお互い参観し合い、結果として授業の質の向上ができています。 ・理数の探究を大切に。 ・達成状況を全体的に見ると達成のための行動は実施されているが数値的な目標の達成はあと一歩であったように思う。 ・取組の成果は着実に出てきていると思う。 ・進学校として上位層の安定や更なる高みを目指せるような取り組みがあるとすばらしい。 ・下位層にも手厚い対策を ・1割余りの科目で「学力向上が実感できた」割合が70%未満である原因は何か。 ・家庭学習時間が2年で減っているのは部活動への責任アップのためか。他への有効活用が指導の中で問いたいのが全体的には問題なし。 ・大学での学びに対する高い志を持ち、社会で活躍する人材を育てるという目標実現に向け、授業に工夫がされている。
イ	志の 育成と進 路目標へ の挑戦	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア講演会・キャリア講座・大学模擬授業 生徒満足度 各80%以上 ・大学訪問 生徒各自の目標達成率 100% ・東大訪問 参加者数 40人程度、満足度 80%以上 ・センター試験5教科受験率 80%以上 ・国公立大学現役合格者数 180人以上 ・難関国公立大学(※6)合格者数 30人以上 ・ハイレベル模試受験者数 学年各30人以上 ・専門教養講座の単位取得生徒数 10人以上 ・生徒個人面談回数 5回以上 ・静岡大学での実習体験参加者数 20人以上 満足度 80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・高大連携をさらに進めてほしい。 ・キャリア教育もしっかりしている。 ・数値目標としての取り組みをひとつのベンチマークとして考える事も大切。 ・キャリア教育、キャリア講座の取り組みはすばらしいと思う。 ・この年代の時に様々な刺激を受け、自分で考え選択できる力がつくと思えばすばらしいと思う。 ・キャリア講演会・講座は将来のことを前提に考え受講することによって自らの進路目標を設定する上で良い。 ・大学訪問や体験学習などいろいろな形で生徒にチャンスを与えることはすばらしい活動である。 ・キャリア講演会や大学訪問という機会が、生徒が明確な目標を立てるのに大いに役立っている。

様式第5号

ウ	能力や特性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻生徒数 1日平均全校で7人以下 ・各部活動の目標達成率 80% ・部活動後の速やかな下校 100% ・東陵祭生徒満足度 80% ・修学旅行生徒満足度 各コース 80% ・内湖高級中学との授業交流(4月) 満足度 80% ・英語研修の参加者数 30人以上, 満足度 80%以上 ・実用英語検定準2級以上取得者数 200人以上 ・GTEC for STUDENTS G5以上 300人以上 ・文化教室 生徒満足度 70%以上 ・図書館の貸出本冊数 2,500冊以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・文武両道に更に努力されてほしい。 ・様々な分野での研究活動に向かうことが大切。 ・しっかりと目標に対しての取組が行われており、成果につながっている。 ・文武両道のポリシーからも目標を立て結果を残せばなお良いと思うが、努力する過程が大切だと思うので、そこを伸ばしてほしい。 ・英語の必要性をもっと感じてもらい、積極的に学べるようにしてほしい。 ・各種行事により高校生活に潤いが与えられ喜ばしい。7割以上が部活動に満足しているので下校時間が多少遅くなくても問題はない。 ・マツ大会など一人ひとりが目標をもって走り、結果に満足していた。 ・座学だけでなく学びを発表することでより深い理解につながっている。 ・部活動に参加する生徒が多く、積極的に取り組んでいる。
エ	品性の育成と命を守る教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「高校生活指導プログラム」の充実 ・情報モラル講座の実施 各学級1回 ・スクールネットパトロール報告件数 昨年比減 ・重大な生徒交通事故件数 0件 ・保健便りによる健康指導回数 15回以上 ・グループエンカウンター実施 各学級1回 ・Q-Uテストの実施とその活用 全学年 ・教育相談だより発行回数8回以上 ・地域防災訓練への生徒参加率 80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・昔から交通事故が多かったが、今回の報告ではだいぶ少なくなっている。 ・(防災上)スリッパをかかとのある上履きにしていただきたい。 ・しっかりと目標に対しての取組が行われており、成果につながっていると思う。 ・すべての営みの基本は人格や品性だったりする。自分の意見を述べることは必要だが人の気持ちや痛みがわかる人になってほしい。 ・防災についてとても重要なので家庭でも地域でも防災についてリーダーになれるような教育があると良い。 ・品性の欠けがちな若者には特に大切。命の大切さへと結ぶ上でも大事な教育で、受験のみに偏らない指導はありがたい。 ・相談室だよりによる研修とそれに伴う指導には保護者のみならず頭が下がる。 ・人としてまた日常生活を安全に安心して過ごす工夫がされている。
オ	広報活動の充実と教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜公開授業の参加者数 計 1,600人以上 ・土曜公開授業外部評価 満足度 80%以上 ・土曜公開での校内美化への外部意見 批判 0件 ・HP更新頻度 週5回以上 ・事務室窓口へのクレーム件数0件 ・月1回の安全点検の実施 ・「信頼できる先生がいる」と答える生徒 80%以上 ・学年主任連絡会の実施 3回以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・より具体的に展開している。活躍の様子が良く新聞に登場している。 ・しっかりと目標に対しての取組が行われており、成果につながっていると思う。 ・HPを毎日更新することはすばらしい。今後も知る欲求に応えられるようにしてほしい。 ・信頼できる先生がいる 81%はすごいと思う。この数字が更に上がることを期待する。 ・社会で認められるには広報活動が重要。大いに宣伝していただきたい。マスコミが正しく伝えることによって「信頼できる先生がいる」ことに結びつく。 ・生徒と先生との良好な信頼関係が高い進学率につながっている。